

( 2 ) 地域への影響

鳥獣被害による地域への影響パターン

区分	パ タ ー ン	内 容
	耕作放棄 草藪・林地化 鳥獣被害拡大	ほとんどの地域で見られたパターン。 高齢化と鳥獣被害による放棄は同時進行。
	鳥獣被害（繰り返し） 耕作放棄 草藪・林地化	度重なる鳥獣被害が原因で耕作放棄。 効果的対策の早急な実施で遊休化を防ぐことが可能。
	鳥獣被害 対策実施 別の鳥獣出現・効果不十分 耕作放棄	生産意欲はあり対策を実施したが、サル、シカ、イノシシ等が相次いで現れたため、ついにあきらめるなど、複数獣類への共通の対策がなく放棄するケース。
	鳥獣被害 対策実施 農業生産活動	成功例。 電気柵を設置し、緩衝帯を整備するなど地域でのしっかりした管理ができているケース。
	鳥獣被害 対策実施 効果不十分 農業生産活動	被害に遭いながら、がんばって耕作を続けているケース。 地域として早急に電気柵等対策を実施しないと、一気に遊休化するおそれがある。
	鳥獣被害 耕作放棄 対策実施 農業生産活動	一度は放棄したが、地域で電気柵を導入し、再度農地が復活した地域。 後継者、生産性等の条件が揃わないとなかなか難しい。